

～探究的な学びを推進する
1人1台の情報端末の活用～

世田谷区教育委員会
令和2年11月

世田谷区教育委員会
せたがや11+を推進します

「探究的な学びを推進する1人1台の情報端末の活用」の目的

「せたがや11+」を推進するためです。

「せたがや11+～キャリア・未来デザイン教育～」とは

無限の可能性をもった子どもたちが「未来」に向けて、自らの将来像を描きながら、主体となって人生の指針を創る世田谷区独自の教育理念

11の取組目標

柱Ⅰ 教育の質の転換 (6つのプラス)

プラス
1 確かなキャリア形成を促す「キャリア・未来デザイン教育」の推進

プラス
2 「体験型教育」による教育課題への対応

プラス
3 社会に開かれた教育活動の推進
地域や保護者と連携した教育の拡充

プラス
4 幼児期から中学校まで探究的な活動や授業の実現

プラス
5 幼稚園・保育所等、小・中学校の連携の強化

プラス
6 専門スタッフによる幼稚園・保育所等への支援の充実

柱Ⅱ

誰一人置き去りにしない教育 (3つのプラス)

プラス
7 個性を生かす「個別最適化教育」の実現

プラス
8 一人一人に寄り添う「専門家チームによる支援体制」の構築

プラス
9 多様性の理解と学びの選択

柱Ⅲ

子どもたちの学びを支える環境の整備 (2つのプラス)

プラス
10 「せたがや11+」を実現する教育環境の整備
教員の資質向上を目指した教育総合センターが令和3年に開設

プラス
11 「未来サポートシステム」の展開
ICT環境の整備や専門人材の配置

第2次世田谷区教育ビジョン

学び舎

世田谷区
教育要領

世田谷マネジ
メントスタンダード

世田谷区
教員等研修

「探究的な学びを推進する1人1台の情報端末の活用」の目的

「せたがや11+」 × ICT活用

「せたがや11+」を推進する**ツール**としてICTを活用します

せたがや11+

教育の質の転換

誰一人置き去りにしない教育

子どもたちの学びを支える環境の整備

ツール

ICT活用のポイント

データ活用

シームレス

可変性

双方向型のやりとり

効率化

個別最適化

生涯にわたって学び続けるためのツールとして
ICTを効果的に活用できる子どもを育みます。

ICTを**ツール**として活用することにより、
「未来」に向けて、自らの将来像を描きながら、
幼児期から育んでいる非認知的能力を生かして
主体的に考え、**生涯にわたって学び続ける**こと
のできる児童・生徒を育む。

「子どもたちが1人1台のタブレット（iPad）
を使えるようにします。」

- 学習用タブレット端末▶1人1台
- 高速通信ネットワーク▶各教室



「せたがや11+」の理念を実現するための
ICT活用の基本方針です

基本方針 1

知的好奇心を刺激し、
主体的な学びや
探究的な学びを促す

基本方針 2

他者や社会と積極的に
関わる環境を整備し、
自ら考えを広げ、
深められるようにする

基本方針 3

一人一人の学びを
尊重し、誰一人置き
去りにしない教育を
推進する

基本方針に基づいて特に教育効果が高いと考える
3つのポイントに絞ります

データ 活用

学習や学校生活、健康等の多様なデータを整理、統合して健やかな成長を経年で見守り、効果的に支援します。

双方向型 の やりとり

やり取りする対象を全世界に広げ、多様な情報や価値観を受け止め、学びを広げ、深めます。

個別 最適化

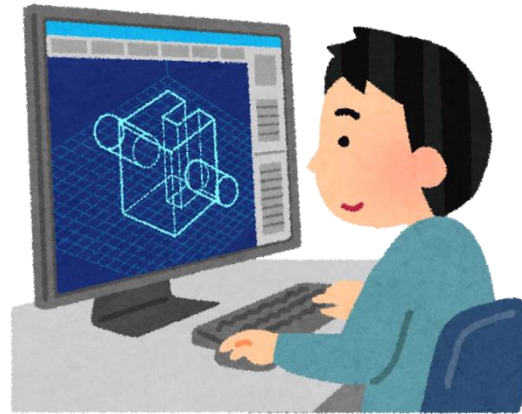
一人一人の興味・関心や学習理解度及び学ぶペース、学び方などに応じていつでも、どこでも学べるようにします。

データ 活用

～学習履歴等のデータを
蓄積、分析、活用します～

学習や学校生活、健康等の多様なデータを整理、統合して健やかな成長を経年で見守り、効果的に支援します。

- 文字、数値、図表、動画、3D、音声など多様なデータを活用
- 学習記録を蓄積、共有
- 見通し、振り返り、評価



双方向型 の やりとり

～双方向型のやりとりを活性化させます～

やり取りする対象を全世界に広げ、多様な情報や価値観を受け止め、学びを広げ、深めます。

- 先生と児童生徒
- 児童生徒同士
- 家庭、地域、外部の専門家など



個別最適化

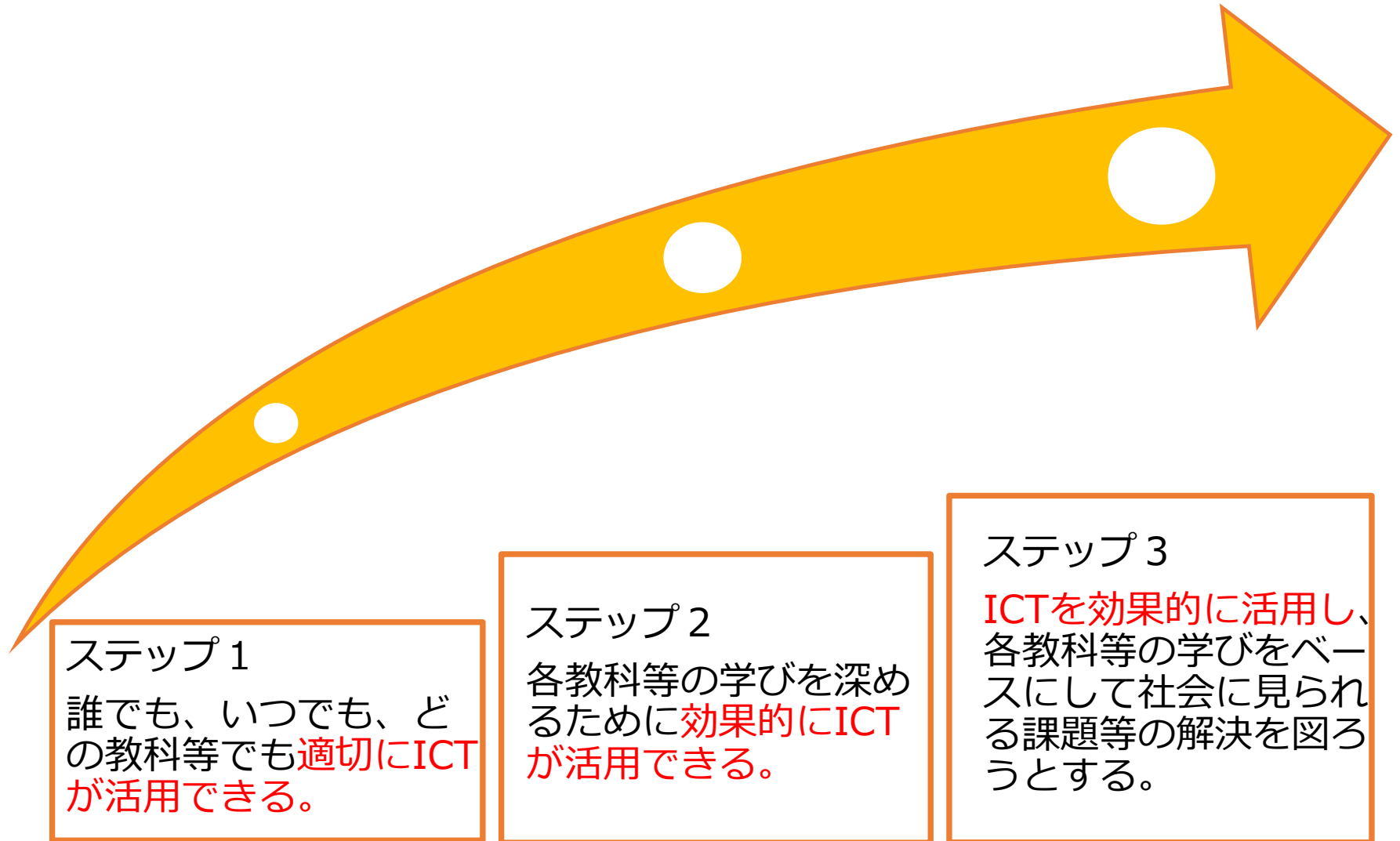
～学習の個別最適化を図ります～

一人一人の興味・関心や学習理解度及び学ぶペース、学び方などに応じていつでも、どこでも学べるようにします。



- 習熟度に応じた学習
- 障がいや言語の壁を乗り越えた学習
- 不登校児童・生徒への支援





ステップ1

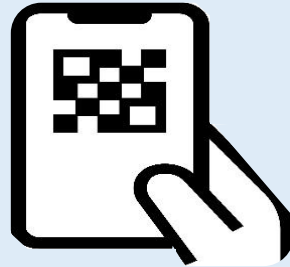
「誰でも、いつでも、どこでもICTを活用する」

すべての学校で日常的に必ず行います

検索したサイトを
活用した調べ学習



教科書の2次元
コードの活用



ドリル系アプリを
活用した個別学習



双方向型学習支援
アプリを活用した
協働学習



チャット等による
コミュニケーション



健康観察表の提出



家庭での活用

持ち帰ったタブ
レットで家庭学
習



不登校児童・
生徒への対応



具体的な取組は適宜、更新していきます。

ステップ2

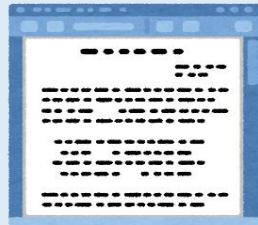
「学びを深めるために効果的にICTを活用する」

児童・生徒の実態や指導内容に即して適宜行うこと

学習や生活スケジュールを進行管理する



校閲機能を用いて推敲し、より良い文章を書く



観察・実験のレポートを写真やグラフを挿入してまとめる



収集したデータを地図に重ね合わせて情報を読み取る



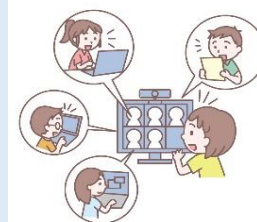
関数のグラフについて式の値を変化させて関数の特徴を考察する



プログラミングを通して正多角形を作図する



海外の児童・生徒とつながり英語で交流・議論する



学び舎の児童・生徒会役員が学校の課題を議論する



ステップ3

「ICTを効果的に活用して、これまでの学びをベースにし、社会に見られる課題等の解決を図ろうとする。」

「未来」に向けて、学びの可能性を広げるために
創意工夫を凝らして行うこと

環境問題等の解決に向けて他国とつながり情報収集、分析、提案する



災害時の実際の被害状況を調査し、避難シミュレーションをして対策を提案する



ロボティクスやIoTを活用して社会問題を解決した例を基にし、理想とする社会の実現に向けて提案する



データに基づく練習や戦略の考案、ゲーム後の再評価を繰り返してパフォーマンスを向上させる



具体的な取組は適宜、更新していきます。